

港区議会みんなの党は、副区長選任の同意について、反対の立場から発言いたします。

議会は本来であれば、この重要な人事案件については、候補者の人物像、並びに目指す政策像を十分に理解する必要があり、その上で同意可否については区民に対して説明責任を負うものです。

ところが、数日前に候補者が明らかにされ、履歴書 1 枚が渡されたのみで、そのような検討の機会を残念ながら持てておりません。

我が党はかねてより、公務員制度改革を訴えており、「公務員による天下り」は特に根絶を主張して参りました。ところが、今回の候補者は中央省庁の出身であり、形を変えた天下りに当たるのではないかと考えられます。

このような事実に対し、明確な説明がなされております。

また、我が党では区政運営の方針として、徹底した行政改革、区職員の人件費削減、特に区長・副区長をはじめとする特別職の高額な退職金については、再考を促して参りました。また、田町駅東口公共公益施設など、「箱モノ行政の見直し」も強く訴えているところです。

このような、“区政運営における重要案件についてのお考えを伺った後に賛否を判断したい”と考え、ご説明いただく場を設けるよう提案をしておりましたが、機会をいただくことができず、非常に残念に思っております。

我が会派としましては、今回の副区長候補は環境省出身ということで、環境に配慮した港区の街作りについては、大いに期待したいという思いも一方にはございますが、以上の理由により“会派として同意することはできない”と考えます。

なお、この場の議員諸氏には、このようなプロセスで副区長に同意していいのか、今一度お考えいただきたい。本当に区民に対し説明責任を果たせるのでしょうか。

そして、今後は選考過程において、議会として十分な検討の場を設けるよう、制度の改善を強く求めるものです。

以上、本提案には賛同しない態度を表明し、討論といたします。